

有害獣捕獲管理システムの実証実験

【実施企業名】

Forex Robotics株式会社（千葉県船橋市）

【実証フィールド】

一般社団法人 栃木県猟友会（栃木県宇都宮市）

【開発するシステム】

「有害獣捕獲管理システム」

クラウドと捕獲従事者のスマートフォンを活用し、捕獲申請や出猟記録などをDX化するシステムの開発

- ①事前に有害獣捕獲従事者として登録。
- ②捕獲写真と捕獲情報を送信。

有害獣捕獲
管理システム

- ①事前に事業者として登録。
- ②申請された捕獲情報に対して、申請受け入れ、もしくは申請拒否を送信。
- ③集計結果をCSVでダウンロード。



【実証事業の内容】

有害獣捕獲従事者に義務づけられている出猟・捕獲情報等の記録から申請までを、スマートフォン上で行うことができるシステムの開発・実証

【日程】

- 実施期間 2022.12月初旬～2023.2.17
- 詳細スケジュール
協議・システム開発：12月～1月
実証開始：1月中旬～2月上旬
実証完了：2月17日

【実証後の展開(社会実装の見込み)】

- ・有害獣捕獲従事者に義務づけられている種々の申請作業をDX化することで、申請作業の簡素化はもとより、集計作業の迅速化を図れる。
- ・申請のDX化が進みデータが蓄積されると、将来的にはAI推論で有害獣の出没時期・場所の予測などが可能になると見込まれる。